

ボディーの洗車はもちろ  
ん、食品輸送などでは荷室  
を清潔に保つことが荷主の  
信頼を得る上で絶対条件  
だ。ティーエスピー（多田  
多延子社長、広島市南区）  
が製造販売する環境改善洗  
剤「スーパーエコ・クリー  
ナー」は洗浄だけでなく、  
除菌・消臭、防汚・防錆  
（ほうせい）・つや出しな  
ど多岐に渡る機能を持ち、  
水が主成分のため安全性も  
高い。これまで飲食店やピ  
ルメンテナンス、工場など  
で使われてきたが、物流業  
界でも採用する会社が増え  
つつある。

## ティーエスピー



した事例もある。スーパー  
エコ・クリーナーは、たば  
こなどの臭いや大腸菌、サ  
ルモネラ菌など食中毒の原  
因となる菌を99・9%カッ  
トする。アルカリ電解水の  
ように金属がさびることも  
ないから、ボディーだけで  
なく、窓ガラスやタイヤ、  
車内と全ての場所の洗浄に  
使える」（多田社長）

通常は原液を20倍に薄め  
て使うが、水を軟水化する  
ため、汚れに深く入り込み、  
洗浄力が高い。バクテリア  
が油やタンパク質、臭いの  
元となる有機物を分解す  
る。

洗車に使う場合のもう一  
つのメリットは、防汚・防  
錆とつや出し効果だ。洗浄  
後は表面にバリアーが張る  
ため、汚れやホコリを  
寄せ付けにくくなり、  
金属の光沢度もアップ  
する。また、洗浄中に  
泡が出ず、水道水の使  
用量が3分の1から5

1リットルの原液（右）  
と希釈用スプレーを持  
つ多田社長

## 環境改善洗剤「スーパーエコ・クリーナー」

### 洗浄だけでなく防臭・除菌まで

分の1に減ったユーザーも  
いる。もちろん、運送会社が  
設置している自動洗車機で  
使うこともできるが、この  
場合は100倍に希釈して  
も効果は保たれるという。

石油系の界面活性剤は含  
まれておらず、発がん性物  
質もゼロ。引火性はなく、  
溶剤系ではないため素材を  
痛めず、保管と管理が簡単  
で安全だ。また、分解した  
油が再結合することがない  
ため、水道管が詰まること  
もなく、下水を綺麗な状態  
に保つことができる。

昨年11月からは、サーク  
ルKサンクスのネット販売  
サイト「KARUWAZA  
ONLINE（カルワ  
オンライン）」での取  
り扱いも始まり、リピート  
率が高い。

多田氏は「引越しては、  
スタッフが汗をかいて、お  
客に不快感を与えることが  
ある。スーパーエコ・クリ  
ナーは衣類に直接吹き掛  
けて臭いを消せるので好感  
度がアップする。企業イメ  
ージだけでなく、環境に配  
慮することで地域や地球環  
境の改善にも貢献できる」  
と話す。

価格は原液1リットル（希釈用  
スプレー付）4500円。20  
倍の希釈で500リットルのパ  
ットボトル40本分となり、  
1本当たりのコストは11  
2円50銭。ただ、業務用は  
オープンプライスで、更に  
安価となる。（江藤 和博）